



東京都 株式会社ダイナム  
「学校サポート～光触媒  
スプレーの寄贈と施工～」  
事業



株式会社ダイナム  
代表取締役  
保坂 明さん

選考理由

新型コロナウイルス感染は減少するかと思えば、また増加に転じ、特に、子どもたちが集まる学校は感染予防に追われた。こうした状況下、店舗周辺の全国40県92校に、ウイルスや細菌を分解して除去できる「光触媒コーティング」を実施、さらに光触媒スプレーも寄贈。従業員が各校に出向き、学校職員やPTAとともに、生徒の利用頻度が高い教室の机や椅子、スイッチ類、体育館や階段の手すり、トイレなどへ2～3時間かけてコーティング作業を行なった。コロナ感染下での時宜を得た優れた社会貢献である。

社会貢献活動審査委員会  
委員  
永井多恵子氏



コロナ禍でも安心して  
学校生活を送るために  
光触媒スプレーを寄贈

消臭・抗菌・抗ウイルス効果のある  
光触媒コーティングを近隣の学校へ

新型コロナウイルスの感染拡大は社会生活や企業活動ばかりではなく、人々の意識にも様々な変化を及ぼした。その一つが除菌や抗ウイルスに対する意識の高まりであり、手指消毒のための消毒液類や空気清浄機などの普及も進んだ。遊技業界でも新型コロナウイルス感染症拡大予防策として積極的に対策を取っているが、全国46都道府県にパチンコホールを展開する株式会社ダイナムでは、いち早く店舗内の様々な設備に対する光触媒コーティングを施工している。

光触媒は光を吸収すると空気中の水や酸素と反応し、活性酸素を発生させ、その強い酸化力によって消臭・抗菌・抗ウイルスなどの効果を発揮する（ただしすべての菌やウイルスに効果があるわけではない）もので、ドア、壁紙、家具、手すりなどに光触媒スプレーを噴霧しておけば、効果が比較的持続するとされている。

「街と生きるパチンコ。」を標榜するダイナムでは、地域の一員としてそれぞれの地域のニーズや状況に合わせた様々な社会貢献や地域貢献に積極的に取り組んでいるが、地域の学校や施設に通う児童生徒や学生を感染症から守り、コロナ禍でも安心して通える学校生活を支援する目的で、ホール内で行っている光触媒コーティングを店舗が立地する近隣の学校へも提供する事業を企画し、昨年、全国規模で実施した。



ホール従業員2～3名、地域共生担当1名が中心となり教室の机や椅子、階段の手すり、トイレなどを中心に2～3時間かけてコーティング



保育園・幼稚園・小中高校・専門学校・大学など計92校で実施し、各学校から感謝状を贈られた

ダイナムの地域共生担当が中心となり、  
学校・PTAと光触媒コーティング作業

この事業は同社の経営企画部地域共生担当が主体となり、ホール周辺の学校に光触媒スプレーの寄贈とコーティング作業の施工を提案して行われたものだが、当初は光触媒の効果に対し、難色を示す学校やPTAも多く、寄贈・施工に至るまで時間を要したという。しかし、他地域での取り組みやメディアでの露出により、光触媒コーティングへの関心や需要が高まったことで近隣の学校から要望が来るようになり、要望のあった学校で実施された。

コーティング作業はホール従業員2～3名、地域共生担当1名が中心となり、当日は学校職員やPTAの方々と一緒に、子どもたちの利用頻度の高い教室の机や椅子、スイッチ類、体育館や階段の手すり、トイレなどを中心に2～3時間かけて行った。「活動の継続や社会奉仕性が認められ、地域の行政と信頼関係が構築できるようになりました。ある県立高校では生徒がボランティアとして参加するケースもあり、活動の広がりが見られるうえ、学校側からも生きた社会貢献活動を体験できるとして高い評価をいただいています。またこの事業をきっかけに他のボランティア活動の要望も寄せられるようになりました」と、同社の担当者は話す。

今回の事業は、2021年12月末時点で40県の保育園・幼稚園・小中高校・専門学校・大学など計92校で実施されたが、その取り組みは現在も継続中で、新たに53校で光触媒の寄贈とコーティング施工が予定されているという（2022年2月時点）。なお、事業の様子は全国紙地方版、地方紙（約50紙）、ローカルテレビ局など報道機関でも多く取り上げられている。